

2014年11月11日(火) 9:00～ 10:00, 生態学実験室(理工実験棟7階)

磐梯朝日遷移プロジェクト臨時談話会 兼 生物系研究室臨時セミナー



『天然記念物「鳥取砂丘」の土地利用、植生の変遷と管理』

永松大(鳥取大学 地域学部 地域環境学科)

鳥取砂丘は、国立公園の特別保護地区、国の天然記念物に指定され、最近では世界ジオパークの重要な構成要素として活用されている。国内の海浜砂丘が開発などにより激減した流れの中で鳥取砂丘も縮小してきたが、幸いその一部が砂丘地として残され、学術的に貴重な存在であると同時に、地域の重要な観光資源となっている。このような背景のもと、鳥取砂丘では指定要件の砂丘景観を維持する名目で、積極的な植生管理が行われてきた。本発表では、鳥取砂丘の最近50年の植生変化を概観し、これに対応して行われてきた植生管理とその課題について紹介する。

興味のある方はどなたでも参加できます。特に、環境システムマネジメント専攻所属あるいは希望の1, 2年生歓迎です。



「磐梯朝日遷移プロジェクト」は自然公園における遷移途中にある自然環境を自然遺産として良好に維持・保全するための方策を解明することを目的とした、福島大学共生システム理工学類のプロジェクトです。

2014年度談話会今後の予定

11月26日(水) 第3回談話会 猪苗代湖などの研究発表

12月22日(月) 第4回談話会 国立公園や生物などの研究発表

3月14日(土), 15日(日) 平成26年度成果報告会

問い合わせ先: 磐梯朝日遷移プロジェクト事務局 本談話会担当(黒沢高秀)

TEL: 024-548-8201 e-mail: kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp